

**海老名市立今泉中学校 学校運営協議会 議事録**  
**(令和5年度 第1回)**

- 1 日時 令和5年6月9日(金) 13:40~15:20
- 2 場所 海老名市立今泉中学校 図書室
- 3 出席委員 今井大輔委員長 鈴木幹司副委員長  
栗山明郎委員 樋口るり子委員 碓井雅巳委員 平井千恵子委員  
宮下良雄委員 山川勇委員 河野康委員 麻生伊都子委員

**4 会議の内容**

**(1) 学校長挨拶**

山川校長：学校は、修学旅行が延期になり残念でしたが、その延期の期日については今調整中。野外学習や鎌倉校外学習は予定通り行うことができ、順調なスタートが切れている。今年度も保護者や地域と連携しながら、学校運営を進めていきたい。学校運営協議会は、今年度も全3回開催していきたい。

～質問・意見なし～

**(2) 授業参観**

全委員が全校の授業の様子を見学した。

**(3) 会長、副会長の選出**

昨年度に引き続き、会長は今井委員、副会長は鈴木委員にお願いしたい。

～全委員了承～

**(4) 自己紹介**

各委員が一言ずつ自己紹介

**(5) 学校の経営方針**

山川校長より学校教育目標等について説明。

～質問・意見なし～ 承認される

**(6) 学校運営協議会実施計画**

山川校長より今年度の協議事項についての説明。

10/23に開催されるコミュニティ・スクール連絡会についての紹介。

## (7) 学校の現状

河野教頭より学校の現状について説明。

### 意見交換

栗山委員：部活動の指導者については、どうなるのか。

山川校長：昨年度の部活動は今年度も継続できた。少しずつ地域移行はしている。

栗山委員：先生方の負担軽減をしっかりとしていけないといけない。

宮下会長：部活動に入部している生徒の人数はどれくらいか。

河野教頭：625名中514名。

樋口委員：心の教室に通っている生徒で、教室に戻れる生徒はいるか。

山川校長：います。出れる授業だけ出て、だんだんそれを増やしていく生徒もいる。

樋口委員：chromebookの活用が多くなっているが、紙でのやり取りはなくなっていくのか。

河野教頭：数年後には、デジタル教科書になっていく。

樋口委員：書かないと書けなくなっていくのでは。

河野教頭：書くことも大切だし、字には生徒たちの気持ちが現れたりする。

碓井委員：PTAのあり方ですが、学校を支えるPTAが成り立たなくなっている。

自治会も成り立たなくなっているし、学校はどうなっていくのか。

小学校では有志になった学校もある。登下校の立哨も毎日ではできなくなった。

鈴木副会長：PTAがなくなっていくのは、保護者の負担軽減の観点からだと思うが、暮らしやすい町づくりを考えていく上では、負担軽減ばかりを言っているはいけない。災害の時だけ地域を主張する人がいる。

栗山委員：やらないことに慣れてきてしまうから、PTAも継続していくことが大事。

今井会長：やり手がいなくなっている現状もあるが、今中学区は消防団の団員がすぐ決まった。そういう気持ちを持っている方もたくさんいる。

## (8) 学校行事等について

河野教頭と麻生委員から行事での生徒の様子を伝える。

議事終了

## (9) その他

次回の、学校運営協議会は、令和5年11月17日（金）13：40から開催予定。